

第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画の概要

令和4年4月
自然環境課

1 計画策定の目的及び背景

平成29年4月に第4期計画を作成し、農業被害の軽減を図るために引き続きニホンジカの狩猟期間を延長するとともに、管理の目標を設定し各種対策を講じてきた結果、捕獲頭数は増加したものの、農業被害は依然高い水準にあるのが現状である。

現行計画の計画期間が、令和4年3月31日をもって満了することから、引き続き農業被害等の軽減を図ることを目的として第5期計画を策定するものである。

2 管理すべき鳥獣の種類

ニホンジカ

3 計画の期間

令和4年4月1日～令和9年3月31日

4 管理が行われるべき区域

広島県全域（廿日市市宮島町を除く。）とする。

5 管理の目標

- ① 農業被害額の軽減
- ② 林業被害抑制対策の推進

6 個体群管理（数の調整）に関する事項

- ① 個体群管理の考え方・目標
 - ・将来予想において個体数が減少に傾き始める15,600頭を年間捕獲目標（目安）の下限とする。
- ② 捕獲対策の推進
 - ・狩猟期間の2月末日までの延長を継続する（11月15日～2月末日）。
 - ・効率的な捕獲を行うため、猟法（くくりわな）禁止区域を除く地区において、くくりわなの輪の直径に係る禁止事項の解除を継続する（直径12cm超使用可）。
 - ・農地周辺での加害個体を中心に集中的に捕獲を行うなど、効果的な有害鳥獣捕獲を実施する。
 - ・被害が甚大な鳥獣保護区について、狩猟鳥獣（イノシシ、ニホンジカを除く）捕獲禁止区域への移行を検討する。
- ③ 年度別事業実施計画に基づく管理施策の展開
個体数の低減と管理目標への確実な到達を図るため、年度別事業実施計画を作成する。
- ④ 指定管理鳥獣捕獲等事業の導入
 - ・狩猟及び有害鳥獣捕獲を補完することを目的として事業に取り組む。
- ⑤ 管理の担い手である狩猟者の確保と技術向上
 - ・狩猟免許試験の県内各地及び休日での開催やその周知等による新規の狩猟免許取得を促進するとともに、狩猟後継者の確保を図る。
 - ・わな架設講習会、安全狩猟射撃講習会等の開催による鳥獣の知識や捕獲技術の向上に努める。

7 生息地の保護及び整備に関する事項

- ・シカによる自然植生への影響が顕著な地域では植生の保護方策を検討する。

8 被害防除対策に関する事項

- ・広島県ニホンジカ被害対策基本方針に沿って、関係機関が対策を実施する。
- ・環境改善、正しい知識に基づく侵入防止柵設置、わな等による加害個体の捕獲に取り組む。
- ・再造林地等における効果的な被害防除対策や捕獲技術を確立し、捕獲体制の構築に向けた取組を推進する。

9 その他管理のために必要な事項

- ・モニタリング等の調査研究の拡充
- ・計画の推進体制の整備等